

日本政策投資銀行から2年連続「BCM格付」の最高ランクを取得



「DBJ BCM格付」認定証

当社は、このたび株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」）が実施する「DBJ BCM格付」において、昨年に引き続き、最高ランクの格付を取得しました。

「DBJ BCM格付」は、DBJが開発した独自の評価システムにより、防災および事業継続への取り組みが優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという、「BCM格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューであり、今回の審査では、

- (1) 施設のハード対策として、各ターミナルに緊急地震速報を導入し利用者の初動対応早期化を促すとともに、免震構造を備えた複合物流施設の建設や非常用自家発電設備の設置等を進め、施設安全策を強化している点
- (2) 有事における優先復旧業務および必要人員数を目標復旧時間とともに整理し、その実効性を検証すべく従業員の参集訓練や、関係事業者と連携したターミナル復旧訓練を実施している点
- (3) 有事の際に開設する広域輸送基地の災害対策本部構成メンバーである東京都福祉保健局および一般社団法人全国物流ネットワーク協会との間で共通の指揮命令系統を整備し、関係者間の役割分担や対応業務を予め明確化するとともに、継続的に緊急支援物資輸送に関する訓練を実施している点

等の取り組みが評価され、「防災および事業継続への取り組みが特に優れている」という最高ランクの格付を2年連続で取得しました。

当社は、引き続き防災および事業継続の取り組みを積極的に進め、「災害に強いトラックターミナル」を構築してまいります。

※日本政策投資銀行のニュースリリース

http://www.dbj.jp/ja/topics/dbj_news/2015/html/0000019854.html

以上